

令和8年度厚別南地区センター運営協議会会議録

令和8年6月26日（金）14:00～14:40

厚別南地区センター 集会室A・B

1 出席者

構成区分(人数)	構成団体（機関）	役職・代表者等
札幌市（3）	札幌市厚別区市民部	地域振興課長 地域活動担当係長、担当者
指定管理者(2)	札幌市厚別南地区センター運営委員会	会 長 牧野 弘志 事務局長 本居 文男
利用者団体(2) [任期2年]	水彩画セピア	代 表 三浦 勉
	新聞ちぎり絵サークル	代 表 梅津久美子
地元町内会等(2)	青葉自治連合会	会 長 土田 義也 (地区センター運営委員会副会長)
	厚別南町内会	顧 問 吉岡 敏幸 (地区センター運営委員会副会長)

2 議事内容（概要）

(1) 令和7年度 業務実績について

【事務局説明】（資料3、4）

令和7年4月から令和8年3月までの①事業実績（講座・地域交流事業）、②利用状況について事務局から報告があった。

講座は、大幅な定員割れとなった4講座を中止した。ふりっぱーの掲載がほぼなくなったことが響いた。貸室の利用状況は、7月の料金改定で、利用料金収入は前年比で2割程度増収となった。図書の利用は来館者、貸出数とも若干減ったもののほぼ前年度並み。2年前から始めた、毎週土曜日の子どもエンジョイデーで、子どもや親子連れの来館が増えている。また、自習コーナーは受験シーズンなどを中心に学生の利用が増えている。

今年2月に行った利用者アンケートの結果は、例年通り多くの利用者が「また利用したい」と評価し、館内の清潔さや環境美化の取組も評価が高かった。職員の接遇は多くの利用者から「良い」との評価をいただいたが、「あまり良くない」との

評価も1名いたことから、職員の意識向上を図った。

毎年秋に実施している文化祭の来館者アンケートは、95%から満足との評価をいただいた。

収支決算では、指定管理費収入は令和5年度から5年間固定となっており、急激な物価高や人件費の高騰で支出のやり繰りに苦慮しており、4年連続で単年度収支赤字となっている。

(2) 令和8年度事業計画、収支予算について

【事務局説明】（資料5、6）

講座や交流事業は、昨年度より若干絞って開催。今年度からまんまる新聞にも記事を掲載依頼しており、江別市などからの受講者もあるなど、順調に推移している。

収支予算は、人件費は、最低賃金が昨年並みに大幅上昇すれば、年度末に債務超過の恐れが生じることから、職員の勤務体制を通常6名から5名体制に見直し、日勤パート職員を減らすなどして支出増を抑制した。次年度にかけても厳しい状況が続く見込みであるため、一層の支出削減に努めたい。

【意見交換】

指定管理費については、職員に過度な負担を強いることのない算定をするよう札幌市に求めたいとの委員からの意見があった。

(3) 令和8年度文化祭について

【事務局説明】（資料なし）

5月の運営委員会定期総会で、今年度も10月24日に昨年同様の規模で実施することが決まり、各サークルに参加を打診中。